

御 嶽 山

概況(平成14年7月)

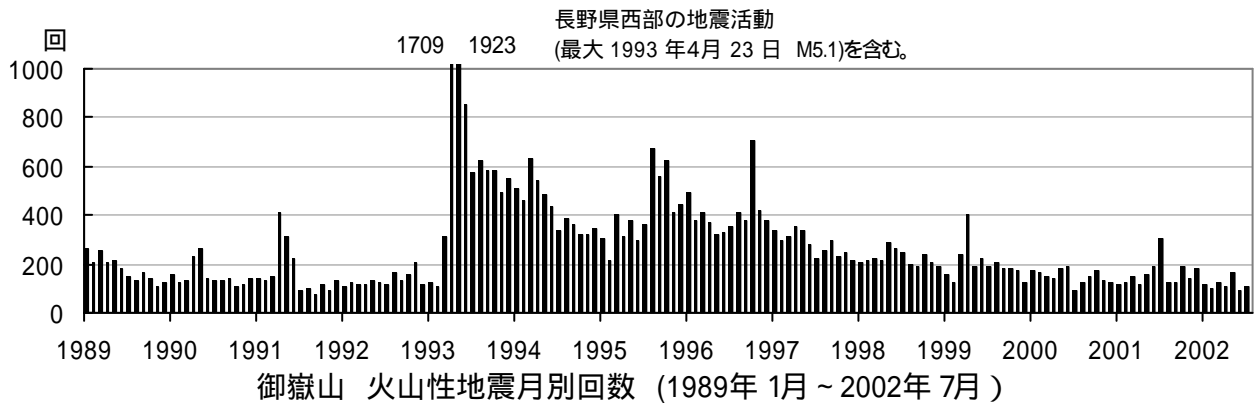
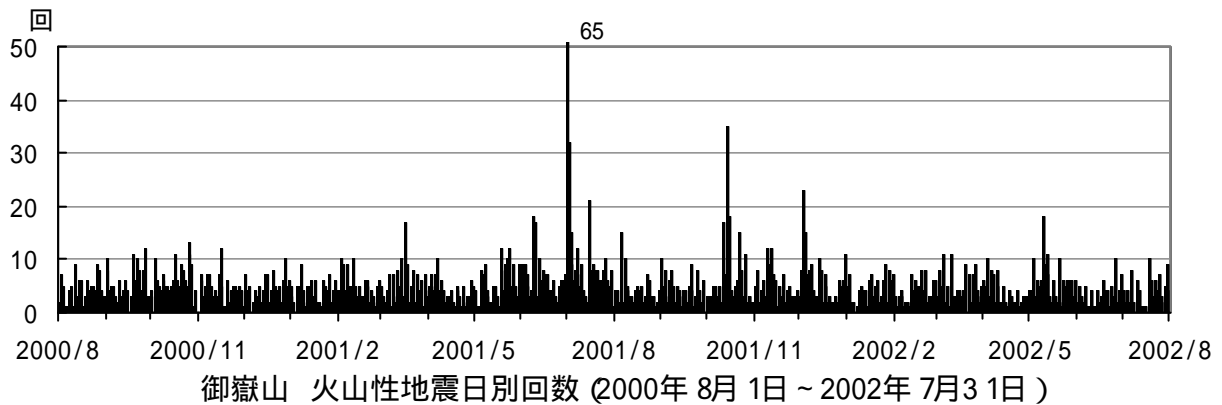
火山活動に特別な変化はなく、落ち着いた状態が続きました。

地震活動の状況

2000年以降、地震活動は落ち着いた状態が続いています。

火山性地震日別回数表(御嶽山)

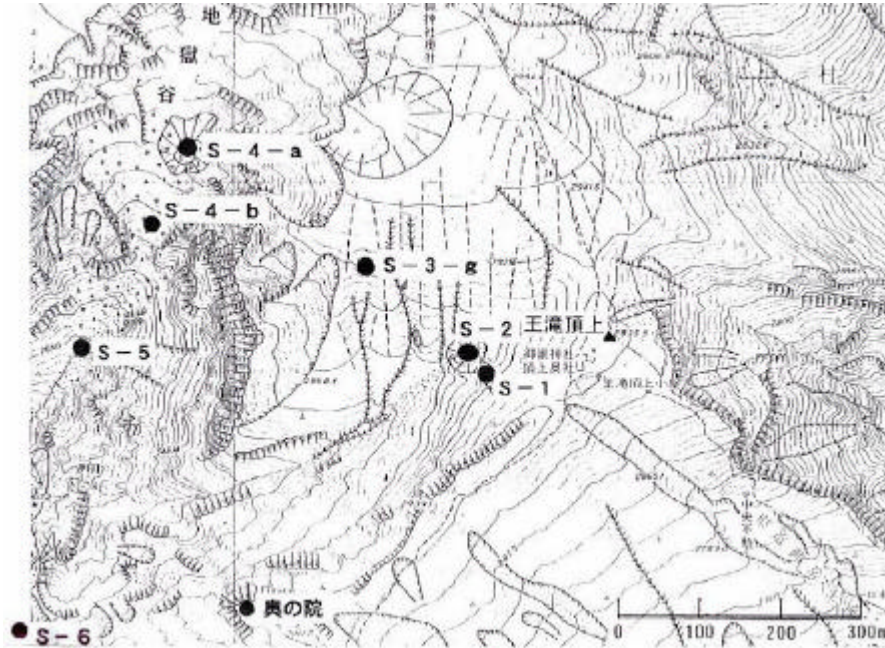
上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日		旬計	
	4	4	2	4	1	2	8	2	0	2		29	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日		旬計	
	6	4	1	1	0	1	0	1	10	6		30	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	旬計	月計
	3	2	6	4	7	2	3	0	5	4	9	45	104



噴気地帯の状況

7月23日から24日にかけて、御嶽山王滝頂上噴気地帯の噴気温度観測および地獄谷噴気地帯の遠望観測を実施しました。噴気活動は、2001年7月に行った前回の観測時と比較して大きな変化は観測されず、落ち着いた状態が続いています。

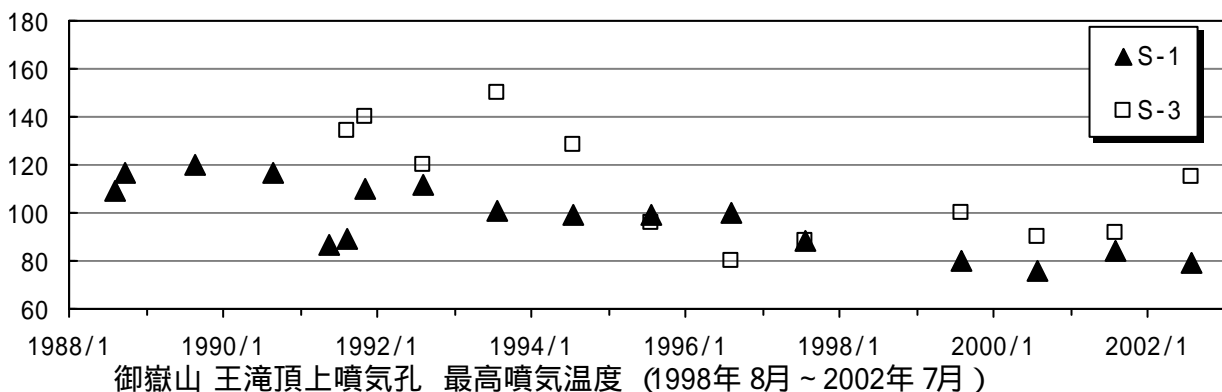
各噴気地帯の分布図、噴気状況および王滝頂上 S-1、S-3 地点の噴気温度の推移を以下に示します。

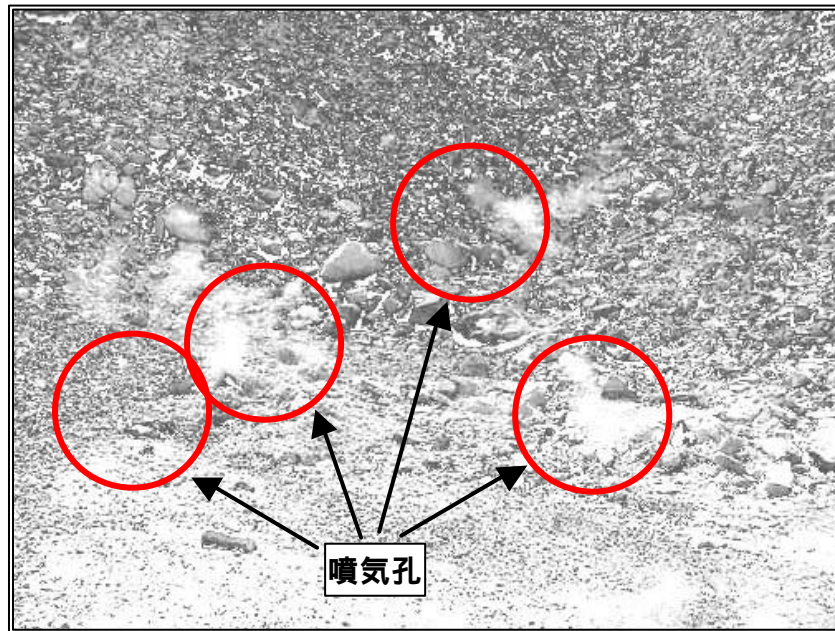


御嶽山 噴気地帯 分布図

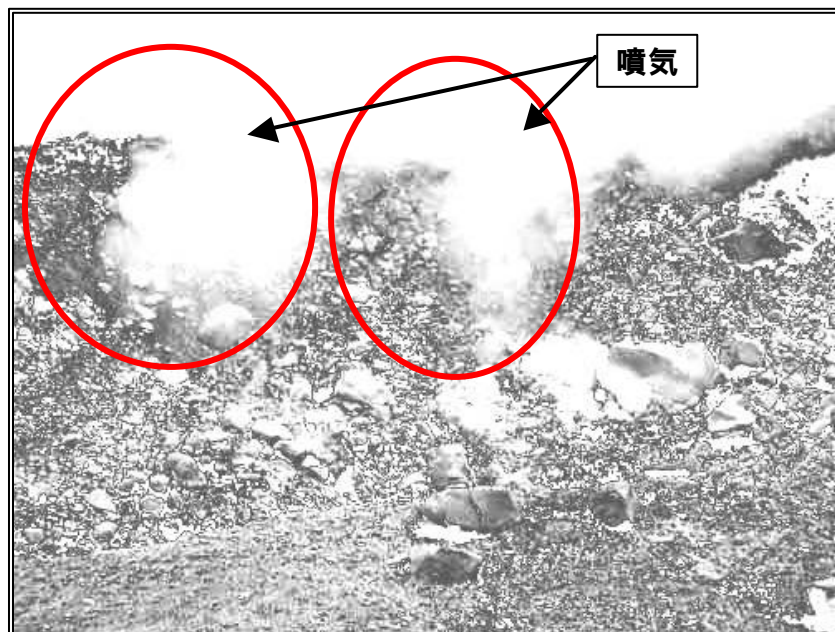
噴気地帯の状況

観測地点	噴気状況	その他
王滝頂上 (S-1)	4つの噴気孔からごく弱い噴気を確認。	強い硫黄臭あり。 噴気孔周辺に硫黄昇華物付着。
王滝頂上 (S-3)	大きな噴気音を伴いながら数十 m 程度の高さまで達していた。	強い硫黄臭あり。 噴気孔周辺に硫黄昇華物付着。
地獄谷 (S-4)	噴気を確認できる程度。	奥の院および剣が峰からの遠望観測
地獄谷 (S-5)	大きな噴気音を伴いながら数十 m 程度の高さまで達していた。	"
地獄谷 (S-6)	噴気は確認できず。	" (前回は南西山麓から確認)





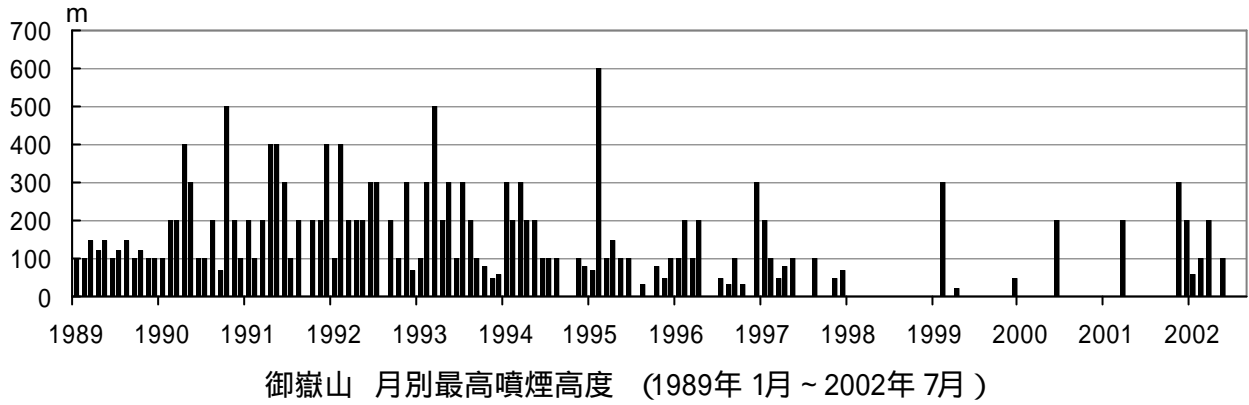
S-1 噴気地帯の様子
(4つの噴気孔からごく弱い噴気を確認。
強い硫黄臭あり。噴気孔周辺に硫黄昇華物付着。)



S-3 噴気地帯の様子
(大きな噴気音を伴いながら数十 m 程度の高さまで達していた。
強い硫黄臭あり。噴気孔周辺に硫黄昇華物付着。)

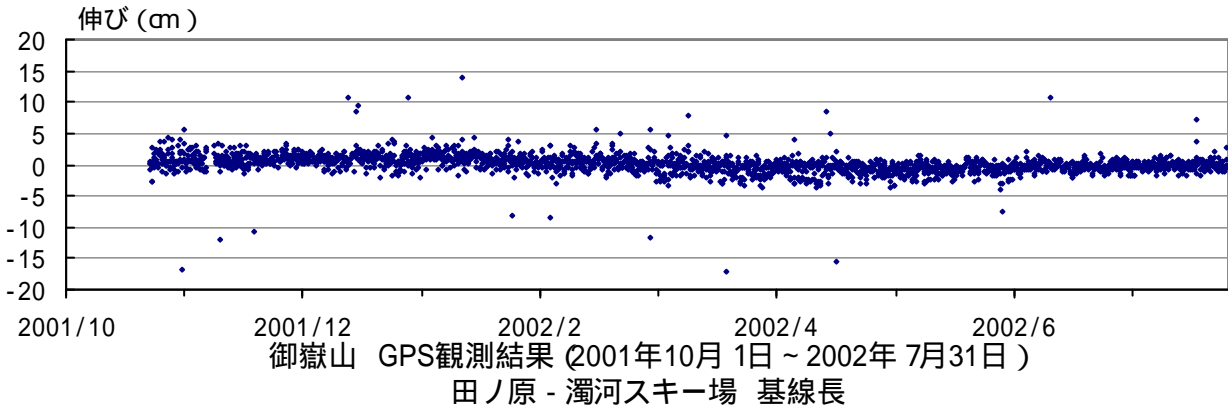
噴煙活動の状況

遠望カメラによる観測では、噴煙は観測されませんでした。



地殻変動の状況

GPS観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした。



御嶽山 観測点配置図

